

「お子様の様子に変化はありませんか？」

夏休みが終わりました。お子様の様子に変化は見られませんか？夏休みの前にもこの学校だよりでお知らせしましたが不登校に陥るのが多いのが9月です。縁起でもありませんが自殺の一番多いのも9月1日なのです。

今、学校では上中祭に向けての練習や準備に頑張っています。表面上は明るく元気に過ごしている生徒でも内面は分かりません。自宅に帰り一人悩んでいるかもしれません。子どもの少しの変化に気づくのは親でしかありません。ふとした時に翳りのある表情を見せたり、学校や友達のことを話さなくなったりしたようでしたらよく話を聞いてあげてください。話を聞いてあげるだけで心が軽くなるものです。そして、家庭だけでは難しいようでしたら学校にもお知らせください。お互いに協力して同じ方向性で子どもに寄り添っていきたいと考えています。

9月に不登校になる要因は一概に特定できませんが、今までの経験上感じることは、

- 1 昼夜逆転
- 2 宿題の未提出
- 3 いじめ・性行不良生徒との交友 などが考えられます。

「昼夜逆転」は、夏休み中の不規則な生活から規則的な生活に戻せないことにより朝起きられないことが原因となります。その背景にはゲームや SNS などが考えられるでしょう。

「宿題の未提出」からの不登校は、夏休みの宿題ができていないことにより学校での先生の指導から逃れようとする心理から生じます。また、真面目な生徒は、宿題ができないというふがない自分を責めてしまい精神的に落ち込んでしまうことも考えられます。

「いじめ・性行不良生徒との交友」は、夏休み中に知り合った他校の生徒や有職少年との交友から悪影響を受ける場合があります。これは上中学生はあまり当てはまらないでしょう。（しかし、他の学校では結構ありました。）

これが原因のすべてではありませんが、もしお子さんが悩んでいる様子でしたら上記の原因は当てはまらないか考えください。

29日から学校は動き始めています。2学期も全員元気で勉強に、運動に、部活動に、生徒会活動に頑張ってもらいたいものです。

上中祭にお越しく下さい

9月8日（金）9日（土）の両日上中祭が行われます。3年生を中心に夏休み中から計画・準備を始めてきました。家庭や授業中には見られないお子様の姿を発見できるかもしれません。是非ご来校いただき生徒の躍動する姿をご覧ください。



上中祭の作品制作に奮闘中

県立高校入試に見直しがありました



新聞等の報道でご存知の方も多いと思いますが、県立高校入試制度の見直しがありました。生徒や保護者の皆さんに関係のある３点についてお知らせします。

● 英語の加点

今までの入試では話す力を評価することが困難でした。そのため、英検を活用し、取得級によって英語の点数に加点されるようになりました。点数は、３級５点、準２級１０点、２級１５点です。ただし、上限を１００点としてオーバーした分は切り捨てることになります。

例：入試９０点＋１５点（２級）＝１０５点⇒１００点（５教科で５００点満点）

● 選択問題の導入

数学・英語の大問４～６のうち１、２問 配点１５点～２５点分を高校により問題を選択することになりました。基本的に普通科は今まで通りで職業系学科は少し容易になる予定です。

● インフルエンザ等の理由による追試験の実施

今までは県立入試は一発勝負で如何なる理由があろうともその日に受験しなければなりませんでしたが、本年度よりインフルエンザ等に罹患した生徒の救済策として追試験の日が設定されました。そのため、試験終了から発表までの間が６日間ほどあります。年度当初予定していた卒業式も延期することとしました。

本年度の卒業式は３月１３日（火）です。

新聞で大きく報道されましたが、本校の田中稜真君（３年）が全国中学校重量挙げ競技９４キロ級で見事優勝を飾りました。

田中君は福井県のジュニアアスリートにも認定されていて、福井国体はもちろんのこと将来を大きく期待されている選手です。

重量挙げを始めたきっかけは、お母さんの知人であったコーチの方に声を掛けられて興味を持ったことからだそうです。そして、小学校６年生の時に体験教室に参加して続けることを決めました。

重量挙げ競技（ウェイトリフティング）は中学校体育連盟に加入している競技ではないので部活動ではありません。専門的なコーチに指導を受けるため小浜市にある専用の練習場にほぼ毎日通い、練習に励んでいるそうです。

PTA 奉仕作業お世話になりました。
お陰様をもちまして上中祭の体育部門はとてもきれいなグラウンドで行うことができました。また、校舎の改修工事に伴う物品の運搬や整理にもお世話いただき、２学期の授業がスムーズに行えるようになりました。
ありがとうございました。

